

中学校 国語

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～ 大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4**、**5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～ 大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 次の文章は、平成29年3月に告示された「小学校学習指導要領」並びに「中学校学習指導要領」の「国語」の「第1 目標」である。あとのア、イの問いに答えよ。

「小学校学習指導要領」 国語 第1 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、 A B を通して、 A B 資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) () ① () に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2) () ① () における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

(3) () ② () を認識するとともに、() ③ ()、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

「中学校学習指導要領」 国語 第1 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、 A B を通して、 A B 資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) () ④ () に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2) () ④ () における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

(3) () ⑤ () を認識するとともに、() ⑥ ()、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

ア 空欄A、Bに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 1

- | | | | | |
|---|---|------|---|------------------------|
| 1 | A | 言語活動 | B | 国語で正確に理解し適切に表現する |
| 2 | A | 言語活動 | B | 筋道立てて考え国語で伝え合う |
| 3 | A | 言語活動 | B | 我が国の言語文化に親しみ国語を理解したりする |
| 4 | A | 探究活動 | B | 筋道立てて考え国語で伝え合う |
| 5 | A | 探究活動 | B | 国語で正確に理解し適切に表現する |

イ 空欄①～⑥に当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

2

- 1 ① 日常生活 ② 言葉がもつよさ
③ 言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し
④ 社会生活 ⑤ 言葉がもつ価値
- 2 ① 日常生活 ② 言葉がもつよさ
③ 言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり
④ 社会生活 ⑤ 言葉がもつ価値
- 3 ① 言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち
社会生活 ② 言葉がもつ価値
③ 言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し
④ 日常生活 ⑤ 言葉がもつよさ
- 4 ① 言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち
社会生活 ② 言葉がもつ価値
③ 言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し
④ 日常生活 ⑤ 言葉がもつよさ
- 5 ① 言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり
社会生活 ② 言葉がもつよさ
③ 言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり
④ 日常生活 ⑤ 言葉がもつ価値
⑥ 言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち

(2) 次の文章は、「高等学校学習指導要領」(平成21年3月告示)の「国語」の目標である。空欄A
～Cに当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

3

国語を適切に表現し A に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める
とともに、思考力や想像力を伸ばし、 B を豊かにし、言語感覚を磨き、
C に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| A | A | A | A | A |
| 的 | 的 | 的 | 正 | 正 |
| 確 | 確 | 確 | 確 | 確 |
| | B | B | B | B |
| | 表 | 表 | 心 | 表 |
| | 現 | 現 | 情 | 現 |
| | 力 | 力 | | 力 |
| | | C | C | C |
| | | 伝 | 伝 | 伝 |
| | | 統 | 統 | 統 |
| | | 文 | 文 | 文 |
| | | 化 | 化 | 化 |
| | C | C | | |
| | 言 | 言 | | |
| | 語 | 語 | | |
| | 文 | 文 | | |
| | 化 | 化 | | |

- (3) 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 中央教育審議会）の「第2部 各学校段階、各教科等における改訂の具体的な方向性」の「第2章 各教科・科目等の内容の見直し」の「1 国語」（以下、「答申」という）、「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）の「国語」（以下、「新しい学習指導要領」という）、「中学校学習指導要領解説 国語編」（平成29年7月）の「第1章 総説」の「2 国語科の改訂の趣旨及び要点」（以下、「新しい学習指導要領解説」という）に関するあとのア～ウの問いに答えよ。

ア 次の文章は、「答申」のうち、「(1) 現行学習指導要領の成果と課題を踏まえた国語科の目標の在り方」の「②課題を踏まえた国語科の目標の在り方」の一部であるが、——線部A～Cの語句について正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 4

これからの子供たちには、創造的・論理的思考を高めるために、「思考力・判断力・表現力等」の「情報を多面的・多角的に精査し構造化する力」がこれまで以上に必要とされるとともに、自分の感情をコントロールすることにつながる^A「自分が用いる言葉に対するメタ認知する力」や、他者との協働につながる^B「自分と相手の考えを比較し、まとめる力」など、三つの側面の力がバランスよく育成されることが必要である。

また、より深く、理解したり表現したりするためには、「情報を編集・操作する力」、「新しい情報を、既に持っている知識や経験、感情に統合し構造化する力」、「新しい問いや仮説を立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力」などの^C「考えを形成し深める力」を育成することが重要である。

5	4	3	2	1
A	A	A	A	A
○	○	×	×	×
B	B	B	B	B
○	×	○	×	○
C	C	C	C	C
×	×	×	○	○

イ 次の各文のうち、「新しい学習指導要領解説」の「(1) 目標及び内容の構成」に示されている内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は 5

A 従前の、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の3領域及び「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で構成していた内容を、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの各事項を「思考力、判断力、表現力等」に、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する各事項を「知識及び技能」に構成し直した。

B 「知識及び技能」に示す事項の指導については、「思考力、判断力、表現力等」に示す事項の指導とは別にまとめて行うことを基本とする。

C 「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」の育成において大きな原動力となるのが、「学びに向かう力、人間性等」であり、これは教科及び学年の目標においてまとめて示されている。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | A | ○ | B | × | C | ○ |
| 2 | A | ○ | B | × | C | × |
| 3 | A | × | B | ○ | C | × |
| 4 | A | × | B | ○ | C | ○ |
| 5 | A | × | B | × | C | ○ |

ウ 次の各文のうち、「答申」、並びに「新しい学習指導要領解説」の「(2) 学習内容の改善・充実」で示されている、「新しい学習指導要領」の内容について説明したものととして誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は 6

1 語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素であるため、「新しい学習指導要領」では語彙を豊かにする指導の改善・充実が図られている。ここでいう、語彙を豊かにするとは、自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。

2 「新しい学習指導要領」では、生徒がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的な思考力を身に付ける「情報の扱い方に関する事項」が新設された。その指導事項は「情報と情報との関係」と「情報の整理」の二つの系統に整理して示されている。

3 「答申」では、小・中学校においては、文字の由来や文字文化に対する理解を深めることについて、高等学校においては、実社会・実生活に生かすことや多様な文字文化に対する理解を深めることについて、高等学校芸術科(書道)との円滑な接続を図る必要があることが述べられている。

4 「新しい学習指導要領」では、各学年において、国語科の学習が読書活動に結び付くよう「知識及び技能」に「読書」に関する指導事項が位置付けられているとともに、「読むこと」の領域では、学校図書館などを利用して様々な本などから情報を得て活用する言語活動例が示されている。

(4) 「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)の「国語」における「我が国の言語文化に関する指導事項」について、あとのア、イの問いに答えよ。

ア 次の各文は伝統的な言語文化に関する指導事項である。それぞれの指導学年として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 7

A 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと。

B 音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。

C 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。

D 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。

E 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。

F 古典には様々な種類の作品があることを知ること。

- | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| 1 | A | 第2学年 | B | 第1学年 | C | 第3学年 | D | 第3学年 | E | 第2学年 | F | 第1学年 |
| 2 | A | 第2学年 | B | 第3学年 | C | 第1学年 | D | 第2学年 | E | 第3学年 | F | 第1学年 |
| 3 | A | 第1学年 | B | 第3学年 | C | 第2学年 | D | 第1学年 | E | 第2学年 | F | 第3学年 |
| 4 | A | 第2学年 | B | 第1学年 | C | 第3学年 | D | 第2学年 | E | 第3学年 | F | 第1学年 |
| 5 | A | 第1学年 | B | 第3学年 | C | 第2学年 | D | 第3学年 | E | 第1学年 | F | 第2学年 |

イ 次の各文は言葉の由来や変化に関する指導事項である。それぞれの指導学年として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 8

A 共通語と方言の果たす役割について理解すること。

B 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。

- | | | | | |
|---|---|------|---|------|
| 1 | A | 第1学年 | B | 第2学年 |
| 2 | A | 第2学年 | B | 第3学年 |
| 3 | A | 第1学年 | B | 第3学年 |
| 4 | A | 第3学年 | B | 第1学年 |
| 5 | A | 第3学年 | B | 第2学年 |

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…『近代小説の表現機構』安藤宏 岩波書店
7ページ8行目から9ページ10行目まで

(安藤宏 『近代小説の表現機構』より)

- (1) 〓 線部 A、C のカタカナを漢字に直すとき、同じ漢字を含むものはどれか。次の各群の 1～5 からそれぞれ一つ選べ。

解答番号は、A は 、B は 、C は

A インシ

- 1 詩のインリツを感じる。
- 2 村のインシユウを改める。
- 3 インシヨク店を経営する。
- 4 京都のジインに行く。
- 5 七十歳でインキヨする。

B キヨウジユ

- 1 コキヨウに帰る。
- 2 燃料をキヨウキユウする。
- 3 キヨウジユンな態度で臨む。
- 4 催しでヨキヨウをする。
- 5 人生をキヨウラクする。

C コウソク

- 1 太陽はコウセイである。
- 2 大臣をコウテツする。
- 3 表現のギコウをこらす。
- 4 規則にコウデイする。
- 5 明日イコウに連絡する。

- (2) 〓 線部①とあるが、その説明として最も適切なものはどれか。1～5 から一つ選べ。

解答番号は

- 1 これまで独自で行われてきた言語学的アプローチと実存的な問題追究と社会科学とを一個の関係概念として読み解いていくことに文学研究の意義がある。
- 2 「人間」が「言葉」を決定したり、ある状況が文学を生み出したりするように、「人間」や「状況」が「言葉」に与える影響を読み解くことに文学研究の意義がある。
- 3 文学研究の出発点である「言葉」を中心に、哲学や倫理学を通して「人間」を、歴史学や社会学を通して「状況」をとらえ、その関係を問うことに文学研究の意義がある。
- 4 言葉で構築された虚構世界に深く関わる「人間」と「状況」の変動的な相互関係を双方向のベクトルの矢印で読み解いていくことに文学研究の意義がある。
- 5 「言葉」「人間」「状況」という文学を構成する要素が、それぞれ文学に与える関係をベクトルの大きさや方向性でとらえていくことに文学研究の意義がある。

- (3) 空欄②に入る語として最も適切なものはどれか。1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 違和
- 2 問題
- 3 表象
- 4 錯覚
- 5 矢印

(4) — 線部③とあるが、この段落での「事実」の説明として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 14

1 言葉はその時代の反映としてあるものであり、その時代の状況が無意識にある文学を生み出しているということ。

2 「転向」や「戦争犯罪」を語る言葉は、政治的歴史的な立ち位置を表明するものではなく、時代認識を変えていくためのものであること。

3 言葉はその時代の影響を受けずに成り立っているものであり、時代の論理と違和を引き起こし、時代認識を変革していくものであること。

4 「状況」と「言葉」の関係において、素朴反論的な発想が社会科学の生命を消費してしまったといえ、時代の論理との違和や亀裂を作り出してしまったこと。

5 ある状況を言葉で語ろうとした際に、時代の論理との間に抵抗を感じることによって、われわれの時代認識が再編成されること。

(5) この文章の構成・展開に関する説明として誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。

解答番号は 15

1 段落Ⅰと段落Ⅳで近代の文学研究の問題点と筆者の考える文学研究のあり方を説明し、段落Ⅴで筆者の考える文学研究を歴史的にまとめて普遍化している。

2 段落Ⅱの前半では、「言葉」「人間」「状況」に関して、近代の人文学が独自の学問領域を切り開いてきたことについて例をあげながら一般的な説明をしている。

3 段落Ⅲ「三歳で孤児になった」という事実がその後の川端康成の文学のすべてを規定した」という表現は、「人間」が「言葉」を決定するという一方にベクトルが局限されていることとの例示となっている。

4 段落Ⅴ「場」は、段落Ⅱ「一個の関係概念として読み解いていく方法論」、段落Ⅴ「普遍的なるものをめざしていく中庸の精神」という表現と同じ意味で使われている。

3

次の漢文を読んで、あとの(1)～(8)の問いに答えよ。(設問の都合により、返り点を施していないところがある。)

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…『新釈漢文大系101 白氏文集五』より「養竹記」
岡村繁 明治書院

〔養竹記〕より

〔注〕

- 庭實 ……ここでは庭園の主要な庭木のこと。
常樂里 ……東市の東にあった坊。
故關相國 ……『新唐書』に伝のみえる関播という人物のこと。
履及 ……歩いてくまで行く
筐篋者 ……竹籠を編む者
篔簹者 ……竹箒を作る者

- (1) ——線部ア、イと同じ意味の「第」、「手」を含む熟語として最も適切なものはどれか。次の各群の1～4からそれぞれ一つ選べ。

解答番号は、アは 、イは

1	第一	1	名手
2	第館	2	手記
3	次第	3	手袋
4	登第	4	挙手

ア「第」

イ「手」

- (2) ——線部ウ、エのここでの読みを送り仮名も含めて現代仮名遣いで表したものととして、最も適切なものはどれか。次の各群の1～4からそれぞれ一つ選べ。

解答番号は、ウは 、エは

1	ここに	1	かつて
2	これを	2	なめて
3	いづくんぞ	3	こころみに
4	いづくにか	4	こころみる

ウ「焉」

エ「嘗」

- (3) ——線部①とあるが、本文中で述べられている、竹と賢人の似ている点について説明したものとして誤っているものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は
- 1 竹の根本がしっかりとっている点と、賢人の道を心に確立している点が似ている。
 - 2 竹の性質がまっすぐな点と賢人の中庸を守る点が似ている。
 - 3 竹の芯が空洞で道を体得しているような点と賢人の物事を漠然と受け入れる点が似ている。
 - 4 竹の節があつて節操があり、志が堅い点と賢人の研鑽を積み、節度を守った生き方をする点が似ている。

- (4) ——線部②について、「猶」のここでの意味と同じ意味を表す文字はどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

1	未	2	将	3	当	4	由	5	蓋
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (5) ——線部③の根拠としてあげていることの説明として最も適切なものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 古来、人間は竹を愛惜し竹籠や竹箒に利用してきたこと。
- 2 竹と雑草との関係が賢人と庶民との関係に似ていること。
- 3 竹は所詮、植物にすぎず、人間の方が高等な生きものであること。
- 4 竹は植物にもかかわらず、まるで人間と同じように感情を持っていること。
- 5 竹が賢人に似ているというだけで人間が竹を惜しんで土を盛って植えること。

(6) 線部④の書き下し文として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 惟だ賢を用ひる者を之と異にす
- 2 惟だ賢を用ひる者のみ之を異にす
- 3 惟るに賢のみ用ひる者を之を異にす
- 4 惟ふに賢を用ひる者を之と異にす
- 5 惟ふに賢を用ひる者之のみを異にす

(7) この文章で述べられている内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- a 賢人だけが自身を他より優れたものとすることができる。
- b 竹は自身を優れた存在とすることはできず、人間だけが竹を優れた存在とする。
- c 竹は時のめぐりあわせに対する感慨に心を動かしているようであった。
- d 作者は老人に教えられたとおりに竹を植え、育った竹のすばらしさや生命力の強さを壁に書き記して後生に伝えようとした。
- e 作者は竹が人々に無視されたような扱いを受けている中で、竹を手厚く手入れした人々に對し気の毒に思った。

1	a	○	b	○	c	×	d	○	e	×
2	a	×	b	×	c	○	d	×	e	○
3	a	×	b	○	c	×	d	○	e	○
4	a	×	b	○	c	○	d	×	e	×
5	a	○	b	×	c	×	d	○	e	○

(8) 次の文章は「養竹記」の作者に関する事柄についてまとめたものである。空欄a～dに入る語として最も適切なものはどれか。それぞれ1～5から一つ選べ。

解答番号は、aは 、bは 、cは 、dは

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…『新日本古典文学大系19 源氏物語二』より「桐壺」柳井滋ほか校注 岩波書店
4ページ10行目、17ページ3行目

a	1	後漢	2	東晋	3	初唐	4	盛唐	5	中唐
b	1	李白	2	杜甫	3	孟浩然	4	白居易	5	王维
c	1	白氏文集	2	詩経	3	文選	4	李太白集	5	陶淵明集
d	1	源氏物語	2	栄花物語	3	平家物語	4	方丈記	5	徒然草

4 次の文章は『今物語』の第三話並びに第四話である。これらを読んで、あとの(1)～(8)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…『今物語』三木紀人 講談社
29ページ11行目から15行目まで、
34ページ1行目から35ページ1行目まで

(『今物語』より)

- (1) 線部A～Cの漢字の読みを現代仮名遣いで答えよ。
- (2) 線部①、⑥の助動詞について、基本形、活用形、本文中での文法的意味をそれぞれ答えよ。
- (3) 線部②の解釈として最も適切なものはどれか。次のア～オから一つ選べ。
- ア このおぼろ月はどうして今夜あらわれたのでしょうか
- イ このおぼろ月はどのような形をしているのでしょうか
- ウ このおぼろ月はどのように愛でたらよいのでしょうか
- エ このおぼろ月はどこで見るのが美しいでしょうか
- オ このおぼろ月は以前どちらに出ていたのでしょうか

- (4) ——線部③の敬意の主体（誰からの敬意か）と、敬意の対象（誰に対する敬意か）として最も適切なものはどれか。次のア～エからそれぞれ一つ選べ。
ア 殿上人 イ 古き宮ばら ウ 女房 エ 編者
- (5) ——線部④、⑦の主語として、最も適切なものはどれか。次のア～エからそれぞれ一つ選べ。
ア 殿上人 イ 古き宮ばら ウ 女房 エ 編者
- (6) ——線部⑤は、「長恨歌」の一節をふまえた表現である。このことから考えて、この表現は、どのようなことに対するどのような心情を表現しているといえるか。次に示した「長恨歌」の一部をふまえて、十五字程度で説明せよ。

「長恨歌」の一部

著作権保護の観点により、
本文を掲載いたしません。

出典…『新釈漢文大系117 白氏文集二下』
より「長恨歌」岡村繁 明治書院
812ページ12行目から
814ページ3行目まで

(7) ——線部⑧はⅡの歌をふまえた表現である。この場面において、「鳴く虫」、「螢」にそれぞれ何をたとえているか。その説明として最も適切なものを次のア～オから一つ選べ。

ア 「鳴く虫」に、隠れたままで出ていくタイミングを図れず、女房たちに見つかりそうになつたため、鼠鳴きをすることでその場を取り繕つた男をたとえ、「螢」に、男の鼠鳴きを螢の鳴き声と思ひ、驚いた女房たちをたとえている。

イ 「鳴く虫」に、古歌を交えた会話の流れについていけずに鼠の鳴き真似しかできなかつた女房をたとえ、「螢」に、鼠の鳴き真似に対して諧謔を交えた発言でその場をとりなした女房をたとえている。

ウ 「鳴く虫」に、「螢の中にも鳴く螢がいるのか」と発言した女房をたとえ、「螢」に、周囲でその発言を騒ぎもせず冷やかに聞いていた他の女房たちをたとえている。

エ 「鳴く虫」に、「しりにたちたる人」の発言に返答できずに鼠の鳴き声でごまかした女房をたとえ、「螢」に、鼠鳴きをした女房に反応しなかつた男をたとえている。

オ 「鳴く虫」に、古歌をふまえて返答できずに口で音を出した男をたとえ、「螢」に、男が口で音を出したことに對して無反応だった女房たちをたとえている。

(8) 次の各文のうち、本文の内容や表現上の特徴について述べたものとして、誤っているものはどれか。次のア～エから一つ選べ。

ア 第三話において、女房は、殿上人の発言をⅠの和歌をふまえたものにとらえ、「たたみ」を出して返答するという、機転の利いたかわし方をした様子が描かれている。

イ 第三話、第四話に共通する評言が第四話に書かれており、その内容は、女房たちの教養と機知に對する讚嘆である。

ウ 第四話においては、「螢」を題材とする、連想による詩歌の知識披露に加えて、状況に即した意味展開が加えられている。

エ 第四話では和歌だけでなく漢詩文をふまえた表現があることから、漢詩文の教養の必要性を伝えようとする意図が読み取れ、その意図を明確に伝えるために、第三話、第四話ともに同じ状況設定で描くという工夫がなされている。

5

次の文章は、久米正雄の小説『虎』の一節である。セリフの一つもない動物の役しか与えられない役者・深井八輔は、次の舞台でも虎の役しか貰えず、八歳になる役者志望の息子の手前、複雑な気持ちのまま日々過ごしていた。ある日、カバを見たいという息子を連れて上野の動物園に向かう電車で、偶然出会った了新聞の劇評家に、本当は虎を研究しに行くことを見透かされ、卑屈な態度をとってしまう。本文はその続きの部分である。これを読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…『日本近代短編小説選大正編』より久米正雄『虎』
江野敏郎ほか編 岩波書店
181ページ12行目から186ページ12行目まで

(久米正雄 『虎』より)

〔注〕 知らせの柝つき…舞台転換や道具が変わる時、合図に打つ拍子木。
大向う…劇場の立見の場所、即ち一幕見の観覧席。
書割…大道具の一。背景の一種。

(1) 〓線部 A 〓 D のカタカナを漢字に直せ。

(2) 〓線部①の説明として最も適切なものはどれか。次のア～オから一つ選べ。

ア 鮮やかな銀色の髯や薔薇の開いたような鮮紅色の口の中を見て、自分とよく似た強さを虎が持っていると感じた。

イ 薄汚れた毛並みやだるそうにうずくまっている様子が、自分の求める虎の姿そのものだったことをとても嬉しく感じた。

ウ 檻の中に閉じ込められ野性の活力を奪われている様子をかわいそうに思い、その姿が父からの解放を喜ぶ自分の息子と似ていると感じた。

エ 何となく気が晴れない様子で威勢もない虎の姿をかわいそうに思ったが、その情けなく哀れな様子が自分とはあまり似ていないと感じた。

オ 檻の中に鎖されてあらゆる野性の活力を奪われた虎をかわいそうに思い、人々に観られても動かない虎の姿が自分の境遇に似ていると感じた。

(3) 〓線部②、③の意味として最も適切なものはどれか。次の各群のア～オからそれぞれ一つ選べ。

② 「麗々しく」

ア 恥を知らないさま

イ いかにもにくらしいさま

ウ さわやかで気持ちがいいさま

エ ことさらに人目に立つようにするさま

オ 気の毒で見えていられないほど、かわいそうなさま

③ 「筆にまかせて」

ア それまでの態度を改めて、気持ちを引き締める

イ 調子にのって書かなくともよいことまで書いてしまう

ウ 文面の体裁などを考えすぎず、筆の走る勢いにまかせる

エ 相手が予想したのとは反対のことをして相手を出し抜く

オ 束縛するものがなくなって、のびのびと自由に振る舞う

(4) 〓線部④と同じ気持ちを表す語句を本文中から五文字で抜き出して答えよ。

(5) 〓線部⑤のようにしたのはなぜか。深井のおかれている状況と、息子に声をかけられた時からこの場面までの深井の心情の変化に触れながら、九十字程度で説明せよ。

(6) 作者・久米正雄は夏目漱石を慕い集った木曜会に参加した一人である。この木曜会に参加していないのは誰か。次のア～オから一つ選べ。

ア 芥川龍之介 イ 高浜虚子 ウ 太宰治 エ 寺田寅彦 オ 森田草平

